

一期一絵・・・

SILKLAND

gallery news & communication

No.183

ギャラリー通信

Sep 2024

<https://www.silkland.co.jp>



《大藤 I》162×81cm



《大藤 II》162×81cm

～ 七彩で紡ぐ物語 ～ 飯田 文香 展

9月1日(日)～14日(土)

11:00-19:30(土・日・祝祭日は18:30まで) ※ 最終日は午後4時閉廊

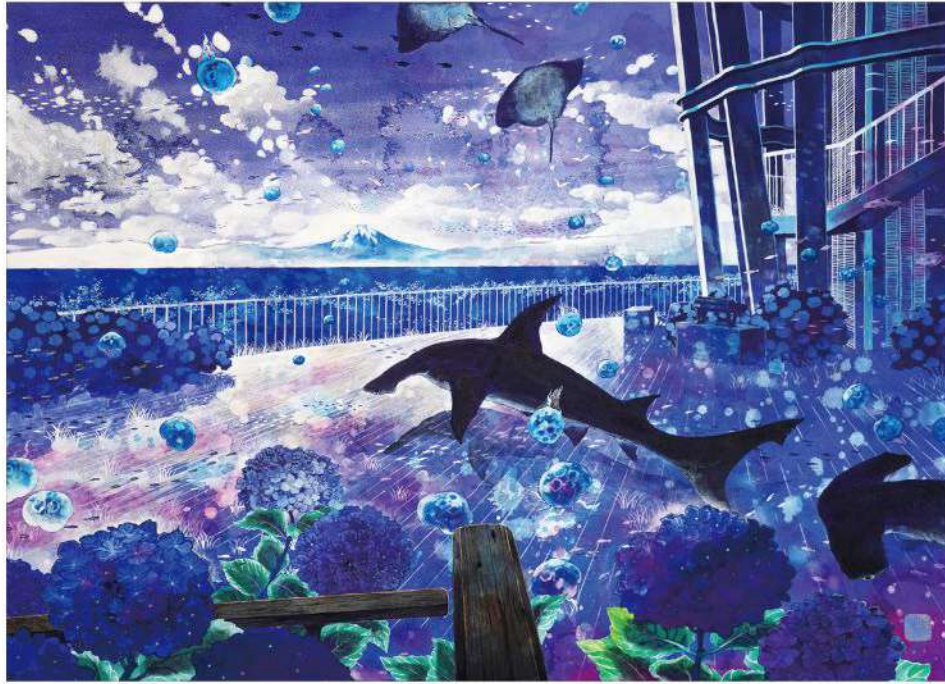
作家来場日 9/1(日), 4(水), 7(土), 11(水): 午後1～5時, 14(土): 午後1～4時

ごあいさつ

早い時期からその作品の放つ存在感に着目し、2017年の新鋭作家による展示を機に紹介を続けてきた飯田文香先生による当画廊初個展。その間、大作公募展などでの受賞歴や海外での活動にもフィールドを広げ、美大卒業後ここ10年で培われてきた画業の成熟した形はステップが一段踏み上がった印象を受けます。身近にある思い入れのある対象も、取材に赴いた土地で五感を揺さぶる景色にも、季節ごとに通り抜けてゆくそれぞれの色や風の匂いが描き出され、技法や強弱の振り幅を工夫することで作家が提示する物語以上の想像力を掻き立ててくれるようです。第二章の始まりともいえる飯田文香の今をご高覧ください。

令和6年8月

シルクランド画廊



《青い季節》P20



《八橋》M4



《朱夏》P6



《台湾椿》M8

QRコード



YouTube
「シルクランド画廊チャンネル」

展覧会の会期に合わせて制作した動画を
YouTubeにてご視聴いただけます。

飯田 文香 作品号単価：4万円



《散步日和》F4



《秋の部屋》173×170cm 屏風



《猫と紫陽花》S4



《野薔薇・白》M6



《紀三井寺》M4



《猫と雛芥子》S4

Information
展覧会情報



《ベルギー・ゲント》F20

9/15 - 28
孫家珮展

詩情豊かな憩いの風景が、見る者の郷愁を呼び起こす油絵の数々。当画廊22回目の個展をご紹介します。



《ジヴェルニー》100×100cm

9/29 - 10/11
モニック・ジュルノー展

今年3月に88歳で永眠された作家を偲んで、在りし日のエレガントで夢のある色彩溢れる油絵30余点をご紹介します。



《春の部屋》173×170cm 屏風



《掄の門》F30



《猫と芍薬》S4

メッセージ

新作、大藤Ⅰ・Ⅱは、栃木の植物園で取材をしました。たった一本の幹から広がる樹下の広大さ、満開だった花房の長さや風に揺れて漣が広がる様子...その印象が新鮮なうちに制作に取り掛かりました。場所や物をありのまま描く部分と、非実在の部分、例えば空間を泳ぐ魚や建物から生える植物、印象で選ぶ色などのバランスを大切に、想像の余地を作りながら制作しています。思いを自由に巡らせつつご鑑賞いただけましたら幸いです。

飯田 文香



飯田 文香 Ayaka lida

1990 横浜市生まれ/ 2014 多摩美術大学絵画学科日本画専攻卒業
神奈川県美術展特選/ 佐藤太清公募美術展入選/ 2015 第33回上野の森美術館大賞展入選/ NAU21世紀美術連立展特別賞('16奨励賞)/ 未来展(日動画廊)特別賞/ 2017 新鋭作家セレクション(シルクランド画廊'18)/ 2019 第7回桜花賞展(郷さくら美術館)、recommend展(シルクランド画廊'20.'22.'23)/ 2020 第9回大作公募展Artist Group 一風- あいはい 同和損保奨励賞(東京都美術館) 2021 飯田文香×山本瞳二人展(シルクランド画廊)、大丸心斎橋店、東京展、横浜そごう、上海北極熊画廊、他個展、グループ展多数



《野薔薇・薄紅》M6

シルクランド画廊

〒104-0061 東京都中央区銀座 6-5-11 第15丸源ビル1階

Tel 03-5568-4356 Fax 03-5568-4357

<https://www.silkland.co.jp> e-mail galler@silklnd.co.jp

アクセス ■ 地下鉄丸の内線、銀座線、日比谷線「銀座駅」B7,C2出口 徒歩2分 ■ JR「新橋駅」銀座出口 徒歩6分

